

福島県 教育新聞

発行人 福島県教職員組合
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141
〔定価一部 20円〕
編集・責任者 瀬戸 禎子
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp
http://www.f-t-u.or.jp
(この購読料は組合費に含まれています。)

福島県が自転車
保険加入を
条例化
(2022年4月)教職員共済
レスキュースリー
個人賠償で安心!!

各支部大会・総会 ～顔を合わせて話すのって、やっぱりいいね～

県教組大会が終了し、各支部での定期大会・総会が6月から7月に開催されました。新型コロナウイルス感染対策を徹底した中での対面開催とする支部が多くありました。コロナ禍の中での学校現場の多忙な現状や産休代替や病休補充が配置されていない状況など、直接話を聴くことができました。

各支部から出された職場報告や県教組への要望などまとめました。出された意見は、今後の県教委交渉等に活かしていきます。

石川支部 6月20日(月)

- 石川地区初の通級指導教室設置が実現。組合が町議会に働きかけ、発言してもらった成果。二一ズは今後高まるのでは。
- 校務支援システムが導入されたが、操作が煩雑で分かりにくい。
- 学級減により教員数も減ったが、業務が減らない。結果、忙しくなっている。
- 講師の方が担当する部活が県大会進出。しかし大会開催が教員採用試験と同日程。
- 朝7時前から出勤、夜7時をすぎても残っている職員がたくさんいる。なぜ忙しいのかさえ、わからなくなる。

岩瀬支部 6月29日(水)

- 組合費がどのように使われているか。
- 須賀川市で実施されている「学びの共同体」(麻府教育研究所)が多忙化の原因になっている。
- 特別支援教育に対する須賀川市の対応がよいくない。

いわき支部 6月29日(水)

- 障がい児教育部では、月1回の学習会を継続している。先生方がこれまでに行ってきた実践や悩みを出し合うことで学びにつながっている。
- 女性部では、例年好評のお正月のお花を楽しんだ。今年度も、アンケート等で情報を集めて活動につなげたい。
- 支援員が、集まらないことを理由に、特別支援学級児童7人に1人と減らされてしまった。採用条件の改善が必要。
- 通知票を校務支援システムでつくることになり、業務が滞っている。学期末が大変になるのが目に見えている。



安達支部 6月29日(水)

- ※鼓笛パレードの実施状況が確認された。二本松市、本宮市、大玉村では今年行っていないようだった。
- 二本松市では夏休み中のプール開放を3日間実施予定。暑さやコロナ禍でどこまで実施できるのか疑問。
- 初任研のメンター方式で学校に先生が1人いるが、所属校のサポートをしてもらいたい状況の時にお願いできず、現場としては辛い。
- 教師用タブレットが児童生徒用に使うことになり、授業で使用できず困っている。

1面からのつづき

田村支部 7月7日(木)

- 各種署名、カンパへ、各分会で積極的に取り組んでもらっており、ありがたい。
- 2021年度は、組織オルガナイザーを2人擁立し、支部の全分会を訪問した。管理職や組合員に、「組合が動いている」ことを少しでも実感してもらえたのではないかな。
- 予算を積極的に活用し、学習会等への参加補助を行うなど、参加を呼びかけたい。



郡山支部 7月8日(金)

- スタディサプリ（リクルート社のアプリ）を夏休み中のドリルとして活用するため、急遽学校で設定しなければならなくなった。通知票の業務と一緒にやり、大変だった。
- 司書室の雇用が来年度から変わることになり、図書館の運営が心配。司書の雇用や賃金を守ってほしい。これ以上低賃金になってしまえば、働く人がいなくなってしまう。学校にとって必要だからこそ、何とかしたい。
- 郡山市のプール開放はどの学校でも予定されていない。

福島・伊達支部 7月9日(土)

- ※2023年度からの本格的な業務統合に向け、合同で大会を開催しました。
- ICT担当の負担が大きい。ICT支援委員の配置を増やしてほしい。
 - 市の水泳大会、陸上大会があるため、学期末の成績処理の時期と練習が重なって負担過重。
 - 産休・育休の補充が入らない。
 - 支援を必要とする子どもが増えているのに、支援員が足りない。また、支援員の勤務の空白期間を無くしてほしい。

グループに分かれて職場実態交流を行いました。



北会支部 7月13日(水)

- タブレットの持ち帰りを行っているが、活用法の研修等は後回しになっている。
- 夏休み前に配布するチラシがかなり多くて大変だった。組合員が増えて、分会に活気が出てきた。
- 朝メールを開くと、10数件来ている。教職員同士で話せる時間が無い。
- 小規模校でも支援が必要な子どもが増えている。支援員の配置を切望。SSSが配置されたのに1か月で学校に来られなくなってしまった。
- 中学校では部活動が終わってからの仕事となるため、21時過ぎに退勤する。産休代替が入っていない。人員不足が学校現場を逼迫させている。



2022人事院勧告

8月8日、2022年の人事院勧告が出されました。給与に関しては以下の通りです。

- ① 一時金（ボーナス）の0.1月引上げ
 - ② 初任給の引上げ、30歳代半ばの職員の号俸引上げ
- ※ 民間との給与格差は921円でした。

人事院勧告って？

国家公務員の給与など人事院が第三者機関として国に見直しを求める制度。民間の調査をし、比較し給与の差を算出します。県の人事委員会勧告に影響します。



中教審答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」は危ない!

～「令和の日本型学校教育」に抗して～

私たちが大事にしたいもの…⑧
〈表現教育～「手は第2の脳」である〉



表現することの意味・価値はどこにあるのだろうか？

音楽や美術などの「表現教育」に
手は不可欠

- 楽器の演奏
巧みな手・指の動きが欠かせない
- ものをつくる・描く
手や指を使う



しかし最近美術大学や小中学校では

筆やペンで紙やキャンバスに
直接描く ことではなく
パソコンやタブレットを使い
「デジタル絵画」として
間接的に絵をつくる
ことが増えている



表現された作品よりも、描いているときの「プロセス」・表現経過が大切

- 水彩絵の具では、水と絵の具の混ぜ具合、バランスをどうするか。
- 筆先を使って、自分の指先で、その微妙な違い（タッチ）をどう扱うか。
- そうして、自分だけの「こだわりの色」をどうつくるか。
- それをどんなふうに紙にのせていくか。……等 これらを考えることで

自分の指先で感じながら描くことで、その感触が脳を繊細に育くむことで、自分と水や絵の具、紙といった人間以外の他者に対する豊かなコミュニケーション能力も育てていくのである。

便利さは思考力を弱め、感性を墮落させます。苦
労するからこそ身につけられる。

「大切なもの」から目を離すことなく、子どもたち
とともに育み合う授業をつくっていきましょう。



は学校で! Monster 松



みんなのひろば

多加水手揉み熟成麺 麺屋 くるり



南東北福島病院の裏にあるラーメン屋さん。
醤油ラーメンは、鶏ガラベースで無化学調味料の優しいお味。3種類のチャーシューが1枚ずつ入って、味の変化を楽しみながら食べられます。
トッピングのワンタンも、つるっとして美味しい。
1枚だけのっている三つ葉が、いいアクセントになっています。

(福島支部 Oさん)



みんなのひろば原稿募集

このコーナーは、組合員のみなさまから、ほっこりしたり、感動したり、ためになったりするような素敵な情報をお待ちしております(^_^)V たとえば…

- ・私の一押し本や映画の紹介
- ・ぜひとも教えたい地元のディープなスポット
- ・なんでも自慢! 「孫自慢」「わが子自慢」「ペット自慢」「俳句」「短歌」「川柳」「絵手紙」「絵画」「ダジャレ」などなど。メールやFAX (0120-17-9312) でお寄せください。

実現しました!

知って安心 私たちの権利 出生サポート休暇(不妊治療休暇)!

不妊治療による通院等で1年につき5日(体外受精・顕微鏡受精の場合10日)取得できます。取得単位は1日または1時間です。特に医師の診断書等の提出は不要です。

長年、組合員からの強い要望で、女性部を中心に声をあげてきました。組合からの要求がやっと実現し、2022年1月に新設されました。まだまだ、認識されていない現状がありますが、県教組では、「知って安心 私たちの権利 2022年4月1日改訂」というリーフレットを全組合員に送付しました。ぜひご一読ください。

「出生サポート休暇」は、男女問わず取ることができます。しかも有給休暇です。

不明な点は、県教組までお問い合わせください。

